

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(10月13日～10月19日)

2018年11月9日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ロシア正教会聖シノドにて、コンスタンティノーブル総主教庁との関係断絶が決定(10/15, ミンスク)
- IAEAの緊急時の対応に関するレビュー・ミッションの訪問(10/7-17)

内政・外交

【ルカシェンコ大統領動静】

●ロシア正教会のキリル総主教との会談(10/15)

ルカシェンコ大統領は会談で、教会の分裂は常に悪であるというベラルーシの国家としての立場に変わりはない旨発言。

(10月15日付大統領公式サイト, 国営ベルタ通信)

●ロシア・ベラルーシ両国正教会の宗務院会との会談における大統領発言要旨(10/15)

- ・見せかけの民主主義の名における市民の権利や自由の保護といった国家的な価値観が、何でも許容する態度や我々の道徳的基盤の否定とすり替えられている。
- ・欧州において、信頼、安全、協力を強化するための体系的な措置を更新する需要は日に日に高まってきている。
- ・大切なのは一致して力を合わせる事。我々には強固だけでなく賢明な一致が必要。

(10月15日付大統領公式サイト, 国営ベルタ通信)

●ルマス首相との会談(10/16)

ルマス首相はルカシェンコ大統領に対し、今後2年間の政府の活動方針を説明。大統領は、2016年に開催された第5回全ベラルーシ国民大会で採択された社会・経済発展目標を必ず達成すること、輸入代替の発展と腐敗の温床となりがちな中間業者対策をより活性化させることを指示。

(10月16日付国営ベルタ通信)

●コチャノヴァ大統領府長官との会談(10/18)

会談では、他の国家組織との協力やそれら組織への監督機能の重要性、賃金問題、若返りを含む人事の課題が取り上げられた。

(10月18日付大統領公式サイト, 国営ベルタ通信)

●マケイ外務大臣との会談

マケイ外務大臣は、10月15日にルクセンブルクで行われた東方パートナーシップ外相会合への参加について報告。欧州連合(EU)との間の優先事項である査証緩和及び不適格者の再入国(リアドミッション)に関する協定案の交渉状況について報告した。また対外経済政策につき、輸出の増大は鈍化が見込まれながらも維持されていることを報告。その他、今後の首脳レベルの行事として、10月25日、26日にゴメリで開催されるベラルーシ・ウクライナ地域フォーラムが、10月30日から11月1日にミンスクでミュンヘン安全保障会議が開催されることが報告された。

(10月18日付国営ベルタ通信)

●グロドノ州訪問(10/19)

10月19日、ルカシェンコ大統領はグロドノ州を訪問し、農業関連の問題につき、クラフツォフ知事等から報告を受けた。また同大統領はグロドノ国立大学を視察し、学生との意見交換を行った。

(10月19日付国営ベルタ通信)

【外交】

●マケイ外務大臣が東方パートナーシップ外相会合に出席(10/15, ルクセンブルク)

マケイ大臣は、東方パートナーシップがインクルーシブでプラグマティックかつ対決的ではないイニシアティブであり続ける必要があり、東方パートナーシップの枠組みで合意した事項を早急に履行する必要があるとのベラルーシの立場につき述べた。

同日、マケイ大臣はハーン欧州委員(近隣政策・拡大交渉担当)と会談し、ベラルーシと EU のパートナーシップの優先事項への署名の見通しにつき協議した。

(10 月 15 日付外務省公式サイト, ベラパン通信)

●ロシア正教会の聖シノド(聖務会院会合)の開催(10/15, ミンスク)

聖シノドが初めてミンスクで開催。会合後、モスクワ総主教庁シノド対外教会関係部長ヴォロコラムスキー・イラリオン府主教は概要以下を発表。

・ロシア正教会はコンスタンティノーブル総主教庁との聖体機密の交流の完全な断絶を決定。

・ベラルーシ府主教区は今回の決定を支持。本決定はベラルーシを含むロシア正教会の全教区に適用される。

・関係断絶の決定を下さざるを得なかった背景は、コンスタンティノーブル総主教庁がウクライナの分離派を容認したこと。

(10 月 15 日付国営ベルタ通信, ベラパン通信, インターネットニュースサイト TUT.BY)

●前駐日大使:西側での誤情報に対抗するソフトパワーが必要

ラフマーノフ共和国院(上院)国際関係・国家安全保障常任委員長(前駐日大使)は記者団に対し、ベラルーシとロシアが西側に対するソフトパワーの仕組みを両国共同で作り上げ、両国の活動に対する誤った情報を流布する試みに対抗する必要がある旨述べた。

(10 月 15 日付ベラパン通信)

●スワラージ印外相がミンスク訪問を希望(10/18)

インド訪問中のダプキユナス外務次官は、スワラージ印外務大臣との会談後、同大臣が会談の中で、ミンスク訪問の希望を表明したと述べた。会談ではまた、2019 年のインド政府代表者のベラルーシ訪問の可能性についても議論された。

(10 月 18 日付外務省公式サイト, ベラパン通信)

●辜勝阻・中国全人民政治協商委員会副主席の訪問(10/19)

辜副主席はヴォロネツキー代表者院(下院)国際関係常任委員会委員長と会談した。同委員長は、2019 年 5 月にミンスクで欧州安全保障協力機構(OSCE)議員会議シルクロード支持グループの国際議員会合が、来年 6 月には産業特区「巨石」で「一带一路」国際フォーラムをそれぞれ開催予定である旨述べた。

(10 月 19 日付国営ベルタ通信)

【治安・軍事】

●武器の押収に関するラッポ国家国境委員会委員長の発言(10/16)

ラッポ国家国境委員会委員長は代表者院(下院)において、本年初頭からベラルーシ・ウクライナ国境で両国の国境警備隊により、180 点の武器と 1 万 3,000 発以上の弾薬が押収されており、両国国境警備隊が取り締まりに全力を挙げている旨説明。また同委員長は、ウクライナだけでなく、ロシアからもベラルーシに武器が流入していることに関し、ベラルーシ・ロシア両国間には国境がなく、別の機関が適宜取り締まりを行っている旨述べた。

(10 月 16 日付ベラパン通信)

経済

【国内経済】

●首相：インフレ率は 2018 年 6%以内、2019 年 5% (10/16)

ルマス首相は記者団に対し、インフレ率が 2018 年に 6%を超えることはなく、2019 年には 5%にまで下がると予測している旨述べた。
(10 月 16 日付ベラパン通信)

●ユーラシア開発銀行がベラルーシ向け経済改革プログラムを準備 (10/16)

10 月 2 日から 5 日にかけ、ユーラシア開発銀行の専門家がミンスクを訪問し、ベラルーシ当局と会談。16 日、同行はマクロ経済情勢とリスクを踏まえたベラルーシのための改革プログラムの修正版を準備。
(10 月 16 日付ベラパン通信)

●IAEA の緊急時の対応に関するレビュー・ミッションの訪問 (10/7-17)

10 月 8 日から 17 日にかけ、国際原子力機関 (IAEA) の緊急時の対応に関するレビュー (EPREV) ミッションがベラルーシを訪問。17 日、同ミッションはベラルーシでは原子力事故への対策と対応に関してしっかりとした措置が講じられている旨報告。ベラルーシは公式に IAEA の緊急時対応援助ネットワーク (RANET) に加入。
(10 月 17 日付ベラパン通信)

●前第一副首相がベラルーシ対外経済銀行の頭取に選出 (10/17)

「ベラルーシ対外経済銀行 (BelVEB)」によれば、マチュシェフスキー前第一副首相が同行頭取に選出され、22 日に就任予定。同行は 1991 年設立、資産・資本規模でベラルーシの 5 大銀行の一つ。筆頭株主はロシア国営の対外経済銀行 (VEB) で、BelVEB 株の 97%以上を保有。
(10 月 17 日付ベラパン通信)

●2030 年までの中小企業振興戦略

10 月 17 日付閣僚会議決定第 743 号により、2030 年までの中小企業振興戦略が決定された。同戦略は、経済構造を改善し得る中小企業部門を振興し、経済競争力を高め、効果的な雇用の確保と国民所得の増加を目指すもの。
(10 月 18 日付国営ベルタ通信)

【対外経済】

●露財務相：ベラルーシに 4 億ドル以上の「再通関」費用を送金予定 (10/18)

シラノフ露財務相は、ロシアとベラルーシのいわゆる「再通関」に関する協定と原油価格の値上がりを受け、ベラルーシに対する石油輸出関税の支払い用に追加で 270 億ロシアルーブル (約 4 億 1,000 万ドル) を予算計上する旨述べた。ロシアからベラルーシに対しては、本年 7 月に支払われていなかった「再通関」に伴う 2 億 6,000 万ドルが今月になって送金されている。
(10 月 18 日付露 prime1.ru, ベラパン通信)

【統計・その他】

●石油製品輸出減少の見込み

政府予測によれば、ベラルーシからの石油製品輸出が、2018 年の 1,200 万トンから 2019 年には 1,100 万トンに減少する見込み。国内市場において以前は輸入していた石油製品を代替する必要が生じるため。2017 年、ベラルーシは石油製品 1,230 万トン 53 億 4,000 万ドルで輸出。これは製品輸出額の 18%以上に相当した。
(10 月 19 日付ベラパン通信)

●ヴィテプスク市がベラルーシで初めて、国連教育科学文化機関 (UNESCO) の学習都市に関するグローバルネットワーク (Global Network of Learning Cities: GNLC) 入り (10/18)。
(10 月 18 日付国営ベルタ通信)

(了)